

子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果概要について

1 ニーズ調査の目的

本調査は、(仮称)第4次秋田市子ども・子育て未来プラン(第3期秋田市子ども・子育て支援事業計画)の策定にあたり、子育て家庭の現状と教育・保育、地域の子育て支援に対するニーズ量(現在の利用状況と今後の利用希望)等を把握することを目的として実施した。

2 調査時期

令和6年2月～3月

3 調査の概要

(1) 回収状況

	対象件数	回収件数	回収率	調査項目数
就学前児童の保護者	2,220 件	817 件	36.8%	98 項目
小学校児童の保護者	1,780 件	738 件	41.5%	58 項目
合 計	4,000 件	1,555 件	38.9%	—

(2) 調査結果について

主な項目の調査結果参照 (P 2～13)

4 調査結果の反映について

(1) 「量の見込み」の算出

今回の調査による利用希望を基に、保育所や幼稚園等の「教育・保育の量の見込み」および病児保育や放課後児童健全育成事業等の「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み」を算出し、次期プランの計画期間における「量の見込み」に対応する提供体制の確保内容の検討を進めていく。

(2) 現行プランの最終評価

現行プランについて、今回の調査結果も踏まえて最終評価を行い、現状の課題等を整理し、次期プランにおける施策等の検討を進めていく。

主な項目の調査結果

(1) 理想とする子どもの数と実際に予定する子どもの数について (就学前児童・小学校児童の保護者)

(問) あなた方（ご夫婦）の理想として全部で何人の子どもの欲しいと思いますか（思いましたか）。

【理想とする子どもの数】

区分	就学前	小学校	回答計	割合
1人	23	29	52	4.5%
2人	306	293	599	52.0%
3人	262	188	450	39.1%
4人	17	18	35	3.0%
5人以上	13	3	16	1.4%
合計	621	531	1,152	100.0%

理想の子どもの数は、「2人」が 52.0%と最も割合が高く、続いて「3人」が 39.1%、「1人」が 4.5%となっている。理想の子どもの数を2人以上とする回答の合計は 95.5%となっている。

(問) 実際にもつつもりの子どもは全部で何人ですか。

【実際に予定する子どもの数】

区分	就学前	小学校	回答計	割合
1人	87	78	165	14.4%
2人	348	300	648	56.4%
3人	157	124	281	24.5%
4人	20	20	40	3.5%
5人以上	8	6	14	1.2%
合計	620	528	1,148	100.0%

実際に予定する子どもの数は、「2人」が 56.4%と最も割合が高く、続いて「3人」が 24.5%、「1人」が 14.4%となっている。実際に予定する子どもの数を2人以上とする回答の合計は 85.6%となっている。

(2) 実際に予定する子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由

(就学前児童・小学校児童の保護者)

(問) 実際にもつつもりの子どもの人数が、理想とする子どもの人数より少ないのはどうしてですか。
(複数回答)

	区 分	就学前	小学校	回答計	割合
1	仕事や趣味を優先したい	18	11	29	7.8%
2	仕事と子育ての両立が難しい	103	62	165	44.1%
3	職場の理解が得られない	10	5	15	4.0%
4	結婚するのが遅かった	46	28	74	19.8%
5	配偶者が子どもを欲しがらない	15	12	27	7.2%
6	妊娠・出産が精神的・肉体的に大変	68	44	112	29.9%
7	年齢的に妊娠・出産が難しい	73	74	147	39.3%
8	健康上の理由で妊娠・出産が難しい	20	16	36	9.6%
9	不妊治療にお金がかかる	21	15	36	9.6%
10	出産費用等の経済的負担が大きい	62	35	97	25.9%
11	子どもの医療費等の経済的負担が大きい	43	27	70	18.7%
12	育児休業制度等の保障が不十分	47	23	70	18.7%
13	子どもに対する手当等による経済的援助が不十分	81	55	136	36.4%
14	子どもの預け先がない	20	20	40	10.7%
15	保育所や幼稚園等にかかる経済的な負担が大きい	47	42	89	23.8%
16	義務教育にかかる経済的な負担が大きい	75	40	115	30.7%
17	高等学校教育にかかる経済的な負担が大きい	94	73	167	44.7%
18	大学教育にかかる経済的な負担が大きい	122	89	211	56.4%
19	育児が精神的・肉体的に大変	57	32	89	23.8%
20	子育てに対する配偶者の協力が少なく、負担が大きい	19	19	38	10.2%
21	育児の社会的支援体制が不十分	39	32	71	19.0%
22	居住する住宅が狭い	21	16	37	9.9%
23	その他	6	19	25	6.7%
	合計(回答母数)	210	164	374	

教育等にかかる経済的な負担に対する回答が多く、「大学教育」が56.4%、「高等学校教育」が44.7%、「義務教育」が30.7%となっており、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が44.1%、「年齢的に妊娠・出産が難しい」が39.3%となっている。

(3) 母親の現在の就労状況（就学前児童の保護者）

（問）宛名のお子さんの母親の方の現在の就労状況について、お伺いします。

	選択肢	R6		H31	
		回答数	割合	回答数	割合
1	正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	387	47.9%	471	40.3%
2	正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	115	14.2%	131	11.2%
3	非正規従業員(パート・アルバイト等)であり、産休・育休・介護休業中ではない	165	20.4%	245	21.0%
4	非正規従業員(パート・アルバイト等)であるが、産休・育休・介護休業中である	9	1.1%	25	2.1%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	129	16.0%	280	23.9%
6	これまで就労したことがない	3	0.4%	17	1.5%
	合計	808	100.0%	1,169	100.0%

※父親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が96.8%

就学前児童の母親の現在の就労状況は、「正規従業員で就労中」が47.9%、「非正規従業員で就労中」が20.4%で、育児等の休業中を含めた就業者（回答1～4の合計）の割合は、83.6%となっており、平成31年調査時から9.0ポイント増加している。

(4) 母親の現在の就労状況（小学校児童の保護者）

（問）宛名のお子さんの母親の方の現在の就労状況について、お伺いします。

	選択肢	R6		H31	
		回答数	割合	回答数	割合
1	正規従業員であり、産休・育休・介護休業中ではない	378	52.1%	352	42.1%
2	正規従業員であるが、産休・育休・介護休業中である	4	0.6%	12	1.4%
3	非正規従業員(パート・アルバイト等)であり、産休・育休・介護休業中ではない	240	33.1%	309	36.9%
4	非正規従業員(パート・アルバイト等)であるが、産休・育休・介護休業中である	7	1.0%	2	0.3%
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	91	12.5%	145	17.3%
6	これまで就労したことがない	5	0.7%	17	2.0%
	合計	725	100.0%	837	100.0%

※父親の就労状況については、「フルタイムで就労中」が96.4%

小学校児童の母親の現在の就労状況は、「正規従業員で就労中」が52.1%、「非正規従業員で就労中」が33.1%で、育児等の休業中を含めた就業者（回答1～4の合計）の割合は、86.8%となっており、平成31年調査時から6.1ポイント増加している。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童の保護者）

（問）宛名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

		R6		H31	
	選択肢	回答数	割合	回答数	割合
1	利用している	676	83.4%	915	77.0%
2	利用していない	135	16.6%	274	23.0%
	合計	811	100.0%	1,189	100.0%

定期的な教育・保育事業については、「利用している」が83.4%で、平成31年調査時から6.4ポイント増加している。

（問）宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（複数回答）

		R6		H31	
	選択肢	回答数	割合	回答数	割合
1	幼稚園	64	9.5%	140	15.3%
2	幼稚園の預かり保育	32	4.7%	37	4.0%
3	認可保育所	263	38.9%	399	43.7%
4	認定こども園	293	43.3%	310	33.9%
5	認定こども園(1号)の預かり保育	31	4.6%	60	6.6%
6	小規模保育事業	15	2.2%	21	2.3%
7	事業所内保育事業	2	0.3%	6	0.7%
8	企業主導型保育事業	12	1.8%	8	0.9%
9	認可外保育施設・幼稚園	5	0.7%	14	1.5%
10	ベビーシッター	—	—	—	—
11	ファミリー・サポート・センター	1	0.1%	5	0.5%
12	その他	6	0.9%	4	0.4%
	合計(回答母数)	676		914	

定期的に利用している教育・保育事業については、「認定こども園」が43.3%で最も多く、次いで「認可保育所」が38.9%、「幼稚園」が9.5%となっている。

平成31年調査時からの比較では、「認定こども園」が9.4ポイント増加したが、「認可保育所」は4.8ポイント減少、「幼稚園」は5.8ポイント減少となっている。

(6) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望（就学前児童の保護者）

（問）現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業をお答えください。（複数回答）

	選択肢	R6		H31	
		回答数	割合	回答数	割合
1	幼稚園	235	29.6%	424	36.6%
2	幼稚園の預かり保育	154	19.4%	238	20.6%
3	認可保育所	340	42.8%	540	46.6%
4	認定こども園	479	60.3%	603	52.1%
5	認定こども園(1号)の預かり保育	100	12.6%	188	16.2%
6	小規模保育事業	35	4.4%	45	3.9%
7	事業所内保育事業	37	4.7%	43	3.7%
8	企業主導型保育事業	31	3.9%	44	3.8%
9	認可外保育施設・幼児園	6	0.8%	13	1.1%
10	ベビーシッター	61	7.7%	52	4.5%
11	ファミリー・サポート・センター	54	6.8%	97	8.4%
12	その他	5	0.6%	8	0.7%
	合計(回答母数)	794		1,158	

定期的な教育・保育事業の利用希望については、「認定こども園」が60.3%で最も多く、次いで「認可保育所」が42.8%、「幼稚園」が29.6%となっている。

平成31年調査時からの比較では、「認定こども園」が8.2ポイント増加したが、「認可保育所」が3.8ポイント減少、「幼稚園」は7.0ポイント減少となっている。

(7) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無（就学前児童の保護者）

（問）宛名のお子さんは、現在、「子ども未来センター」や「各市民サービスセンターの子育て交流ひろば」や「子ども広場（フォンテ秋田6階）」を利用していますか。

	選択肢	R6		H31	
		回答数	割合	回答数	割合
1	利用している	303	37.3%	409	34.6%
2	利用していない	509	62.7%	773	65.4%
	合計	812	100.0%	1,182	100.0%

地域子育て支援拠点事業について、「利用している」が37.3%であり、平成31年調査時からは2.7ポイント増加している。

(8) 病児保育の利用希望（就学前児童の保護者）

(問) この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

		R6	
	選択肢	回答数	割合
1	あった	550	83.1%
2	なかった	112	16.9%
	合計	662	100.0%

		H31	
	回答者	割合	
	717	79.9%	
	180	20.1%	
	897	100.0%	

教育・保育事業について、お子さんの病気やケガで通常の利用ができなかったことがあったかどうかについては、「あった」が83.1%で、平成31年調査から3.2ポイント増加している。

(問) 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この１年間で行った対処方法は何ですか。（複数回答）

		R6	
	選択肢	回答数	割合
ア	母親が休んだ	483	88.5%
イ	父親が休んだ	327	59.9%
ウ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	192	35.2%
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	74	13.6%
オ	病児・病後児の保育を利用した (保育所(園)で実施しているサービスを含む)	49	9.0%
カ	ベビーシッターを利用した	8	1.5%
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	8	1.5%
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	1.6%
ケ	その他	8	1.5%
	合計(回答母数)	546	

		H31	
	回答数	割合	
	579	85.3%	
	270	39.8%	
	304	44.8%	
	98	14.4%	
	26	3.8%	
	—	—	
	3	0.4%	
	2	0.3%	
	12	1.8%	
	679		

対処方法については、「母親が休んだ」が88.5%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が59.9%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が35.2%となっている。

平成31年調査時との比較では、「母親が休んだ」が3.2ポイント増加、「父親が休んだ」が20.1ポイント増加したが、「親族・知人に子どもをみてもらった」は9.6ポイント減少となっている。

(問) (子どもがけがや病気で教育・保育事業が使えず、母親又は父親が仕事を休んで対応した方にうかがいます) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

		R6	
	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	172	34.7%
2	利用したいとは思わない	323	65.3%
	合計	495	100.0%

		H31	
	回答数	割合	
	201	34.2%	
	386	65.8%	
	587	100.0%	

病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「利用したい」が34.7%となっており、平成31年調査時から0.5ポイント増加している。

(9) 放課後の過ごし方（就学前児童（５歳以上）の保護者）

（問）放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
（複数回答）

【低学年時】

	選択肢	R6		H31	
		回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	71	32.4%	137	49.6%
2	祖父母宅や友人・知人宅	33	15.1%	53	19.2%
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	64	29.2%	108	39.1%
4	放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)	70	32.0%	105	38.0%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	127	58.0%	103	37.3%
6	ファミリー・サポート・センター	2	0.9%	2	0.7%
7	その他(図書館、公園など)	9	4.1%	12	4.3%
	合計(回答母数)	219		276	

子どもが小学校低学年のうちに、放課後の時間を過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が58.0%で最も多く、次いで「自宅」32.4%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」32.0%、「習い事」29.2%となっている。

【高学年時】

	選択肢	R6		H31	
		回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	152	69.4%	190	55.6%
2	祖父母宅や友人・知人宅	42	19.2%	51	14.9%
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	107	48.9%	169	49.4%
4	放課後こども教室(児童館、児童センター、児童室)	68	31.1%	83	24.3%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	57	26.0%	56	16.4%
6	ファミリー・サポート・センター	—	—	2	0.6%
7	その他(図書館、公園など)	20	9.1%	22	6.4%
	合計(回答母数)	219		342	

子どもが小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が69.4%で最も多く、次いで「習い事」48.9%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」31.1%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」26.0%となっている。

(10) 放課後の過ごし方（小学校児童の保護者）

(問) 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
(複数回答)

【低学年時】（回答対象：現在低学年の小学校児童）

		R6		H31	
	選択肢	回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	216	60.2%	300	67.6%
2	祖父母宅や友人・知人宅	43	12.0%	62	14.0%
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	133	37.0%	208	46.8%
4	放課後子ども教室(児童館、児童センター、児童室)	124	34.5%	142	32.0%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	120	33.4%	98	22.1%
6	ファミリー・サポート・センター	5	1.4%	1	0.2%
7	その他(図書館、公園など)	25	7.0%	47	10.6%
	合計(回答母数)	359		444	

子どもが小学校低学年のうちに、放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が60.2%で最も多く、次いで「習い事」37.0%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」34.5%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」33.4%となっている。

【高学年時】（回答対象：現在高学年を含む小学校児童）

		R6		H31	
	選択肢	回答数	割合	回答数	割合
1	自宅	543	79.4%	627	78.4%
2	祖父母宅や友人・知人宅	86	12.6%	131	16.4%
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	346	50.6%	487	60.9%
4	放課後子ども教室(児童館、児童センター、児童室)	136	19.9%	174	21.8%
5	放課後児童クラブ〔学童保育〕	99	14.5%	80	10.0%
6	ファミリー・サポート・センター	10	1.5%	3	0.4%
7	その他(図書館、公園など)	60	8.8%	88	11.0%
	合計(回答母数)	684		800	

子どもが小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたい場所については、低学年時同様、「自宅」が79.4%で最も多く、次いで「習い事」50.6%、「放課後子ども教室（児童館、児童センター、児童室）」19.9%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」14.5%となっている。

(11) 育児休業の取得状況（就学前児童の保護者）

（問）宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

【母親の育児休業】

		R6		H31	
	選択肢	回答数	割合	回答数	割合
1	働いていなかった	206	26.0%	431	36.6%
2	取得した(取得中である)	519	65.5%	577	49.0%
3	取得していない	67	8.5%	170	14.4%
	合計	792	100.0%	1,178	100.0%

母親の育児休業について、「取得した（取得中）」が65.5%で最も多く、次いで「働いていなかった」が26.0%、「取得していない」が8.5%となっている。

平成31年調査時からの比較では、「取得した（取得中）」が16.5ポイント増加し、「働いていなかった」が10.6ポイント減少、「取得していない」が5.9ポイント減少となっている。

【父親の育児休業】

		R6		H31	
	選択肢	回答数	割合	回答数	割合
1	働いていなかった	15	1.9%	12	1.1%
2	取得した(取得中である)	156	19.8%	44	4.1%
3	取得していない	615	78.2%	1,024	94.8%
	全体	786	100.0%	1,080	100.0%

父親の育児休業について、「取得していない」が78.2%で最も多く、次いで「取得した（取得中）」が19.8%、「働いていなかった」が1.9%となっている。

平成31年調査時からの比較では、「取得した（取得中）」が15.7ポイント増加し、「取得していない」が16.6ポイント減少となっている。

(12) ワーク・ライフ・バランスの認知度（就学前・小学校児童の保護者）

(問) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存じですか。

		R6				H31			
	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	名前も内容も知っている	462	365	827	54.1%	444	285	729	35.9%
2	名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない	200	178	378	24.7%	341	224	565	27.8%
3	名前も内容も知らない	146	178	324	21.2%	397	342	739	36.4%
	合計	808	721	1,529	100.0%	1,182	851	2,033	100.0%

ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度については、「名前も内容も知っている」が 54.1%で最も多く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 24.7%、「名前も内容も知らない」が 21.2%となっている。

平成 31 年調査時との比較では、「名前も内容も知っている」が 18.2 ポイント増加し、「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らない」は 3.1 ポイント減少、「名前も内容も知らない」は 15.2 ポイント減少となっている。

(問) 日頃、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向け、努力されていますか。(回答対象：上記で、「名前も内容も知っている」と回答した方)

		R6				H31			
	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	かなり努力している	55	43	98	12.5%	67	31	98	13.5%
2	まあまあ努力している	187	118	305	38.8%	200	138	338	46.6%
3	どちらともいえない	162	115	277	35.2%	125	93	218	30.1%
4	あまり努力していない	37	37	74	9.4%	28	15	43	5.9%
5	ほとんど努力していない	19	13	32	4.1%	21	7	28	3.9%
	合計	460	326	786	100.0%	441	284	725	100.0%

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた努力については、「かなり努力している・まあまあ努力している」が 51.3%で、「どちらともいえない」が 35.2%、「あまり努力していない・ほとんど努力していない」が 13.5%となっている。

平成 31 年調査時との比較では、「かなり努力している・まあまあ努力している」が 8.8 ポイント減少し、一方「どちらともいえない」が 5.1 ポイント増加、「あまり努力していない・ほとんど努力していない」が 3.7 ポイント増加となっている。

(13) 子育てに関する不安や負担感について（就学前・小学校児童の保護者）

(問) 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。

		R6				H31			
	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	非常に感じる	130	160	290	18.8%	165	147	312	15.4%
2	ときどき感じる	508	409	917	59.6%	797	493	1,290	63.8%
3	あまり感じない	142	134	276	17.9%	181	183	364	18.0%
4	全く感じない	28	27	55	3.6%	28	23	51	2.5%
5	その他	2	0	2	0.1%	2	4	6	0.3%
	合計	810	730	1,540	100.0%	1,173	850	2,023	100.0%

子育てに関する不安感や負担感については、「ときどき感じる」が 59.6%で最も多く、「非常に感じる」が 18.8%、「あまり感じない」が 17.9%、「全く感じない」が 3.6%となっている。

平成 31 年調査時との比較では、「非常に感じる」が 3.4 ポイント増加、「全く感じない」が 1.1 ポイント増加し、「ときどき感じる」は 4.2 ポイント減少、「あまり感じない」は 0.1 ポイント減少となっている。

(問) 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。（複数回答）

		R6				H31			
	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	病気や発育・発達に関すること	354	227	581	38.2%	443	206	649	32.6%
2	食事や栄養に関すること	338	213	551	36.2%	465	180	645	32.4%
3	育児の方法がよくわからないこと	87		87	10.8%	122		122	10.5%
4	子どもとの接し方に自信が持てないこと	192	161	353	23.2%	287	136	423	21.3%
5	子どもと接する時間を十分にとれないこと	305	233	538	35.3%	380	232	612	30.8%
6	子どもが言うことを聞かないこと	213		213	26.5%	308		308	26.5%
7	話し相手や相談相手がいらないこと	49	50	99	6.5%	65	57	122	6.1%
8	自分の自由な時間が持てないこと	346	226	572	37.6%	446	203	649	32.6%
9	子どもの教育に関すること	272	362	634	41.7%	421	413	834	42.0%
10	子どもの友達づきあひに関すること	138	262	400	26.3%	180	261	441	22.2%
11	子どもが幼稚園や保育所等に行きたがらないこと	43		43	5.3%	33		33	2.8%
12	不登校等に関すること		61	61	8.5%		37	37	4.5%
13	家族の協力が少ないこと	63	76	139	9.1%	103	68	171	8.6%
14	幼稚園や保育所等に、希望した時期に入れないこと	26		26	3.2%	58		58	5.0%
15	子どもを叱りすぎている気がする	297	254	551	36.2%	446	301	747	37.6%
16	子育てに関して家族と意見が合わないこと	61	61	122	8.0%	102	77	179	9.0%
17	自分が子どもを虐待しているのではないかということ	38	25	63	4.1%	32	24	56	2.8%
18	家族が子どもを虐待しているのではないかということ	5	8	13	0.9%	8	5	13	0.7%
19	住居が狭いこと	105	59	164	10.8%	166	86	252	12.7%
20	子育てで出費がかさむこと	396	435	831	54.6%	492	460	952	47.9%
21	子育てにかかりきりになり、家事が滞ること	173	51	224	14.7%				
22	その他	34	41	75	4.9%	74	41	115	5.8%
	合計(回答母数)	805	717	1,522		1,161	827	1,988	

(14) 子育て環境や子育て支援について（就学前・小学校児童の保護者）

(問) 秋田市の子育ての環境や子育て支援への満足度について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

		R6				H31			
	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合	就学前	小学校	回答計	割合
1	満足度が高い	35	17	52	3.4%	57	27	84	4.2%
2	満足度がやや高い	175	92	267	17.5%	283	138	421	20.8%
3	満足度がふつう	300	257	557	36.5%	477	334	811	40.1%
4	満足度がやや低い	196	213	409	26.8%	257	223	480	23.7%
5	満足度が低い	92	148	240	15.8%	102	124	226	11.2%
	合計	798	727	1,525	100.0%	1,176	846	2,022	100.0%

秋田市の子育て環境や子育て支援への満足度は、「ふつう」が36.5%で最も多く、「低い・やや低い」が42.6%、「高い・やや高い」が20.9%となっている。

平成31年調査時との比較では、「低い・やや低い」が7.7ポイント増加し、「高い・やや高い」が4.1ポイント減少、「ふつう」が3.6ポイント減少となっている。

また今後、どのような子育て支援策が必要と思うかに対する回答は以下のとおり（複数回答）

	選択肢	就学前	小学校	回答計	割合
1	子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす	195	157	352	22.9%
2	子ども連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす	346	254	600	39.0%
3	子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす	193	197	390	25.3%
4	保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する	508	334	842	54.7%
5	保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る	219	151	370	24.0%
6	延長保育(預かり保育)の時間を長くする	142	121	263	17.1%
7	休日保育(日・祝日)の実施施設を増やす	211	157	368	23.9%
8	一時預かり事業(保育所等での一時的な保育)の実施施設数を増やす	177	127	304	19.8%
9	病児・病後児保育事業(病氣中または病氣の回復期の預かり保育)の実施施設数を増やす	300	204	504	32.7%
10	放課後児童クラブを増やす	271	165	436	28.3%
11	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが増えるよう促す	129	101	230	14.9%
12	誰でも気軽に利用できるNPO等による家事支援サービスが増えるよう促す	128	92	220	14.3%
13	医療費助成(マル福)を拡大するなど医療費の負担を軽減する	459	480	939	61.0%
14	時間短縮勤務や在宅勤務など多様な働き方ができるよう企業に対して働き方の見直しを促す	394	341	735	47.8%
15	仕事と子育ての両立に取り組む企業が増えるよう促す	456	319	775	50.4%
16	育児休業(産後パパ育休を含む。)や子の看護休暇の取得を促進する	367	206	573	37.2%
17	子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす	68	55	123	8.0%
18	妊娠期からの健康や食事について学べる機会を増やす	43	40	83	5.4%
19	保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする	37	41	78	5.1%
20	自治体独自のスマートフォン向け子育てアプリ(市LINE公式アカウント以外)を配信する	48	40	88	5.7%
21	子ども連れでバスなどの公共交通機関を利用する際の費用負担を軽減する	199	200	399	25.9%
22	行事に参加する際の託児所をつくる	167	92	259	16.8%
23	児童養護施設に親子で短期間の入所をし、子どもへの関わり方などの支援を受ける制度をつくる	27	23	50	3.2%
24	男性の家事・育児に関する講習の場を増やす	129	74	203	13.2%
25	家事支援サービスにかかる費用負担を軽減する	190	146	336	21.8%
26	その他	104	67	171	11.1%
27	特にない	2	13	15	1.0%
	合計(回答母数)	814	725	1,539	